

消防吏員合冬制服（男性用）仕様書

京都市消防局総務部施設課

（担当：藤・菱野 212-6649）

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する消防吏員合冬制服（男性用）等（以下「合冬制服」という。）の仕様について定める。
- 2 この合冬制服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この合冬制服は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。

なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議すること。

- 5 仕様生地について、同等品で納入を希望する場合は、同等品確認時に、生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可とする。ただし、染色前の生地で同等品確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度同等品確認を行う。この際、同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。）に加え、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書又は国内公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。また、国内紡績メーカーの品質証明を提出する場合であっても、本仕様書の性能を満たしていることが判断できないときは、国内公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。

なお、国内公的機関の試験成績結果を証明する書類について期限までに提出できない場合にあっては、契約後に提出することを認める（契約後提出する旨の申出書を提出すること。）。ただし、契約後、当該書類の確認により同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。

- 6 落札業者は、契約後速やかに、染色後の生地見本（10cm四方以上、染色にあつては染色が必要な生地に限る。）、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書並びに製作工程表（検収予定月日も明記すること。）を当局へ提出するとともに、承認を得ること。ただし、国内紡績メーカーの品質証明により、本仕様書の性能を満たしていることが判断できない場合は、国内公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出し、承認を得ること。

なお、同等品で納入を希望する場合において、既に提出済みの書類については、再提出の必要はないものとする。

- 7 サイズは、号数を原則とする。ただし号数に合わない者は採寸とし、所属ごとに採寸をすること。号数については別表7及び8参照。
- 8 製品は1着ごとに指定の紙袋又は紙箱（別図1参照）に入れ、別に指示する袖章（金属製消防き章）を必要数入れること。消防局総務部施設課以外に納入するものには、袋の表面に職員氏名を表

示すること。(表示する氏名は、別途指示する。)

- 9 製品は当局の各所属に納入すること。
- 10 納入前に当局の指定した場所で検収を実施する。
- 11 契約後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあつては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 12 契約後打合せを実施する。
- 13 請求書に購入物品ごとの単価及び数量を明記すること。

第2 調達数、納品場所及び納期

1 調達数(サイズ内訳については、契約後に指示する。)

- (1) 上衣: 110着
- (2)ズボン: 160着

2 納品場所

当局本部庁舎	京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450番地の2
消防活動総合センター	京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94番地の4
消防学校	京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内21番地の3
北消防署	京都市北区大宮西脇台町17番地の2
上京消防署	京都市上京区釜座通下立売下る東裏辻町398番地
左京消防署	京都市左京区田中西大久保町36番地
中京消防署	京都市中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町521番地
東山消防署	京都市東山区清水五丁目130番地の8
山科消防署	京都市山科区西野今屋敷町2番地の10
下京消防署	京都市下京区五条通高倉西入堺町27番地
南消防署	京都市南区西九条菅田町4番地の1
右京消防署	京都市右京区太秦蜂岡町36番地
西京消防署	京都市西京区樫原佃19番地
伏見消防署	京都市伏見区竹田七瀬川町9番地の1
醍醐消防分署	京都市伏見区醍醐大構町28番地

3 納期

令和9年2月19日(金)

第3 型式

1 上衣

剣衿式ダブル型、前面6つ釦、2つ掛、6mmミシン飾りとする。

2 ズボン

帯付き長ズボン型、裾シングルとする。

第4 仕様

1 使用材料

(1) 生地一般

ア 原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなどの目立たない良質のものを使用するものとする。

イ 織上がりは均整で、織りキズ、糸節及び汚れなど欠点のないものでなければならない。

(2) 表生地

別表 1 のとおり。

(3) 胴裏地及び袖裏地

別表 2 のとおり。

(4) 袋地

別表 3 のとおり。

(5) 加工芯地

別表 4 のとおり。

(6) 腰裏地（マーベルト、スレーキ）

別表 5 のとおり。

(7) 芯地

別表 6 のとおり。

(8) ブレード

ア 蛇腹は幅 3 c m のものを使用する。

イ 金及び銀線は指定見本による。

ウ 金釦は指定見本による。

2 縫製

(1) 一般

ア 各部の縫合は優良で、縫い代が適当であること。

イ 縫い目の飛び、はずれがないこと。

ウ 糸調子は縫い目が優良で、縫い曲がりがないこと。

エ 縫い目数は指定どおりにすること。

(ア) 地縫い針運用数 1 4 針以上／3 c m 間

(イ) 飾りステッチ運針数 1 4 針以上／3 c m 間

オ 飾りステッチ幅 6 m m

カ 飾りステッチはすべて表ミシンとすること。

キ 釦穴は鳩目かんぬき穴かがりとする。ただし、返り穴のみ眠りかんぬき穴かがりとするこ
と。(上衣)

ク 裁ち目すべてオーバーロックかがりとすること。(ズボン)

ケ 各部の合標、曲線に十分注意すること。

コ 仕上げは糸屑をとり、丁寧にプレスすること。

(2) 上衣

ア 前身頃

(ア) ダーツ縫い目は割る。

(イ) 釦穴は前より 1. 5 c m 入ったところに 2. 5 c m の穴を上前にかがる。

(ウ) 飾り釦の位置は釦穴と水平で、前より 1 3. 5 c m とする。ただし、第 1 釦は更に
2. 5 c m 入る。

(エ) 返り穴を上端より 3. 5 c m、前ハナより 1. 5 c m 入ったところに 1. 7 c m の釦穴
を左右にかがる。

イ 身返し

(ア) 前芯地は加工芯地を使用し、全体に継ぎなしとし、上部 1 2 c m 及び裾 8 c m とする。

- (イ) 身返し縫合後、衿付け止まりから前端まで飾りステッチをかける。
- ウ 衿伸び止めテープ（内側）
 - 1 cmとし、下衿上部より前裾角L字型に10 cm以上のところまで入れること。
- エ 肩縫
 - 表地はミシン縫割、裏地は縫倒し肩綿を適度に入れる。
- オ 脇（ダーツ）
 - 表地はミシン縫割、裏地は片倒しとする。
- カ 脇吊
 - 芯入とし下前第2釦に平行し、内合せ釦1個をつけ、上端袖付より裏地にて幅3 cm長さ適度のものをつけ穴かがりを設けて袖付から適度の場所に吊り止めを設ける。
- キ 後ろ身頃
 - 背中心縫い代は割る。
- ク 裾折り上げ
 - 上衣裾は3 cm以上折り上げて背抜き部のみ奥をまつり付ける。
- ケ 裏身頃
 - (ア) 背抜き仕立てとする。
 - (イ) 背抜き裏とし背きせ1 cm程度をとり裾3ツ折りのミシン飾りとする。
 - (ウ) 背断目及び裾の裁ち目はカラアゲミシン仕上げとし裾をまつり縫いとする。
 - (エ) 脇縫裏は奥まつり又はミシン縫いとする。
 - (オ) 裏付は脇で上り8 cm背の中央で22 cm以上とし、鎖止めとする。
 - (カ) 肩、ダーツ縫い目は後ろに倒す。
- コ 袖
 - (ア) 袖は2枚袖とする。
 - (イ) 袖口芯は不織布を使用し、袖口より14 cm以上の芯入りとする。
 - (ウ) 袖縫い目は割る。
 - (エ) 袖裏は表袖口より約1.5 cm控えてミシン縫いする。
 - (オ) 袖裏縫い目は表地へつれないようにとじる。
 - (カ) 袖口より11 cm上がった位置にしま織線（黒色）を縫い付ける。
 - (キ) 蛇腹組（金、銀線）はしま織線の袖口側に間隔なく縫い付ける。
 - (ク) 消防司令以上の階級は、消防き章（金属製）を必要数脇ピケットに入れること。
 - (ケ) その他詳細は別図5参照。
- サ 衿
 - (ア) 衿はピークドラペルとし、周囲は飾りステッチをかける。
 - (イ) 上衿の腰幅は2.5 cm、返りは3.5 cmとする。
 - (ウ) 衿の剣先までの長さは5 cm、上衿の長さは3 cmとする。
 - (エ) 裏衿は表地共布又はカラークロスとする。
 - (オ) 表衿は吹きを持たせ、折返りの厚みを引かれぬように注意すること。
 - (カ) 上衿のおわりは、2つ目のボタンの上部とする。（別図3参照）
- シ 胸ポケット
 - (ア) 胸ポケットは箱型とし上前に1個付ける。
 - (イ) 右側上端は左側上端より1.5 cmの傾斜をつける。
 - (ウ) ポケット口布に不織布を張る。
 - (エ) ポケット口布内径10.5 cm及び深さ14 cmとする。（公務証を出し入れ出来るよう

寸法を正確にすること。)

- (カ) ポケット位置裏に力布を張り袋地とともに芯にとじる。

ス 脇ポケット

- (ア) 脇ポケットは左右脇部に各1個付ける。
(イ) 雨蓋付きポケットとし、雨蓋幅5cm、長さ15cm、ポケット口幅14.5cm及び深さ18cm以上とする。
(ウ) 雨蓋には幅5mmの飾りステッチを入れ、芯地を入れる。

セ 内ポケット

- (ア) 下前、上前裏側に片玉雨蓋付マジックテープ止めとし、口幅15cm、深さ20cmのポケットを2個付ける。
(イ) 上前裏側内ポケット口より下4cmの位置にポケット口布内径5cm、深さ14cm(±1cm)のペン差しを1個付ける。
(ウ) 見返しの裏へ力布を当て、袋底は二重縫いし、芯にとじる。
(エ) 袋の裾は芯に止める。

ソ つり紐

- (ア) つり紐は袋縫いして返し、飾りステッチをかける。
(イ) 紐の長さはサイズにより異なり、左下袖縫い目の位置に付け釦穴が飾り第2釦の真裏にくるように取付ける。
(ウ) 紐剣先より1.5cm入ったところに2.0cmの釦穴をかがる。

タ 釦

前面に指定釦6個を付ける。

チ 片布

別図2に指示する片布を下前内側の位置に付けること。

ツ 衿吊

衿吊り布を付けること。

テ 号数片布

衿吊り下に号数片布を付けること。

ト 階級章・消防局章用マジックテープ

下前身頃に階級章取付け用マジックテープ(メス、2cm×4cm)を縫い付ける。また、上前身のポケット上部に消防局章取付け用マジックテープ(メス、69mm×22mm)を取付ける。マジックテープは黒色とする。取付け位置については、別図3及び4参照。

ナ その他詳細は、別図2から5を参照。

(3) ズボン

ア 腰ポケット

左右各1個ポケット口幅15cm両端ミシン閉止め、深さ下門13cm、袋幅16cm底部二重縫いとする。(袋の場合は不要)

イ 忍びポケット

右腰ポケット内に幅8cm、深さ6cmと11cm、斜め口幅約10cmの忍びポケットを縫い付ける。

ウ 後ポケット

- (ア) 右後に1個、ポケット口幅15cm、深さ18cmとする。底部は、二重縫いとする。(袋の場合は不要)
(イ) ポケット中央に釦1個付け、ポケット口より1.5cmの位置に、縦1.7cm釦穴を

かがる。

- (ウ) 口の両端は門止めとし、ポケット袋は地縫い返しし、飾りミシンをかける。

エ タック

- (ア) 外向きタックを左右各 1 本とる。
- (イ) タックは流し止めせず、バンド通の下部の位置で横斜めにミシン止めとする。

オ 腰ダーツ

左右の腰後部に各 2 本とり、後に倒す。

カ 天狗及び前立て

- (ア) 天狗は不織布芯を入れ裏と地縫い返しし、奥はロックがけする。
- (イ) 周囲は飾りミシンをかける。
- (ウ) 前立ては不織布芯を入れ、奥の裁ち目はロックがけする。
- (エ) 前立て飾りは幅 3. 5 c m とする。
- (オ) 座金前かんを天狗、前立て上部に付ける。
- (カ) 位置は上端より標準とする。
- (キ) ズボン小股止めは約 4 c m の位置に門止めをする。

キ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- (イ) 前立て側は前立て裏にファスナーの上端を縫いつけ、二条縫いで縫い付ける。(見本のとおり)

ク 脇縫い及び内股縫い

- (ア) 地縫い割りとし、割った後はアイロンでよく押さえ、内股は中央まで二重縫又は二重環縫いとする。
- (イ) 裁ち目はオーバロックがけする。

ケ 尻縫い

- (ア) 割り縫いとし、二重縫い又は二重環縫いとする。
- (イ) 上部の縫い代は 3 c m 以上とし、裁ち目はオーバロックかがりとする。
- (ウ) 前シック及びしりシックを縫い付ける。

コ 腰裏

- (ア) マーベルト、スレーキ（スベリ止め付き）を使用する。
- (イ) マーベルト上端は地縫い後、押さえ縫いをする。
- (ウ) 腰裏下端は、しり縫い代及びポケットの箇所カン止めをする。

サ バンド通し

- (ア) ループは幅 0. 8 c m、長さ 4. 5 c m 仕上げとし、7 本付けとする。
- (イ) ループミシンによるものとし両端は端縫いをする。
- (ウ) ズボンの上端より 0. 5 c m 下がった位置に縫付け、上部は 0. 3 c m 以内の緩みを付ける。
- (エ) バンド付けはミシンかんぬき止め又は本縫い 4 回以上とする。

シ 裾

折り返し幅 6 c m 以上とし、ロック始末すくい止めミシン縫いする。その際縫い糸が表にひびかないように十分注意する。

ス 靴ずれ

表地使用幅 2. 5 c m、長さ 1 8 c m とし裁ち目は内側へ折り返して端ミシンをかける。

セ 釦

しり釦に径 1. 5 c m のものを 1 個付ける。

ソ 釦穴

ポケットの釦穴は機械または手穴とする。

タ 片布

左腰ポケット袋部の見やすい位置へ別図 2 に指示する片布をつけること。

チ 号数片布

上前腰部の見やすい位置に号数片布をつけること

ツ 膝あてをつける。(ポリエステル 100% グレー色)

テ その他詳細は、別図 2 及び 3 参照。

表生地

別表 1

表生地は、日本毛織株式会社の K S 4 0 又は次の性能を満たす同等品を可とする。

項目		性能
混紡率		毛 1 0 0 %サージ (先染め)
糸番手	経	2 / 4 8
	緯	2 / 4 8
組織		2 / 2 正斜紋織
密度 (1 0 c m)	経	3 0 6 ~ 3 3 2 本
	緯	2 6 0 ~ 2 8 5 本
重量		2 4 5 ~ 2 7 5 g / m ²
引張強度	経	3 0 0 N 以上
	緯	3 0 0 N 以上
寸法変化率	経	3 % 以内
	緯	3 % 以内
染色堅牢度	耐光	4 級以上
	洗濯	4 級以上
	摩擦	4 級以上
	汗変退色	4 級以上
ピリング		4 級以上
色相		紺 (指定色)

胴裏地及び袖裏地

別表 2

項目		性能
混紡率		ポリエステル 1 0 0 % ツイル胴裏地
糸番手	経	ポリエステル 7 5 D
	緯	ポリエステル 7 5 D
組織		2 / 1 ツイル
密度 (1 0 c m)	経	5 1 5 本以上
	緯	3 1 5 本以上
引張強度	経	7 0 kg f 以上
	緯	5 0 kg f 以上
寸法変化率	経	3 % 以内
	緯	3 % 以内
染色堅牢度	洗濯	4 級以上
	摩擦	4 級以上
	汗変退色	4 級以上
色相		指定見本による

袋地

別表 3

項目			性能
混紡率			テトロン１００％又は ポリエステル６５％、レーヨン３５％
糸番手	経		３０s
	緯		３０s
組織	テトロン		平織
	ポリエステル、レーヨン混紡		綾織
密度 (１０cm)	経		２５６本以上
	緯		１９６本以上
重量	テトロン		１００g以上／m ²
	ポリエステル、レーヨン混紡		１２５g以上／m ²
引張強度	テトロン	経	６０kgf以上
		緯	４０kgf以上
	ポリエステル、 レーヨン混紡	経	４５kgf以上
		緯	３０kgf以上
寸法変化率	経		±３％以内
	緯		±３％以内
色相			指定見本による

加工芯地

毛芯地

項目		性能
混紡率	経	ウール 4 7 % 以上、レーヨン 5 3 % 以下
	緯	ウール 5 5 % 以上、レーヨン 4 5 % 以下
糸番手	経	2 / 3 6
	緯	1 / 1 1
組織		平織
密度 (1 0 c m)	経	1 6 5 本以上
	緯	1 5 5 本以上
寸法変化率	経	± 3 % 以内
	緯	± 3 % 以内

不織布

項目	性能
混紡率	ポリエステル 2 0 %、ナイロン 7 0 %、レーヨン 1 0 % (± 5 %)
重量	9 5 g / m ² (± 1 0 g)
厚さ	1 2 5 mm (± 0 . 2 mm)
色相	指定見本による

スレーキ

項目		性能
糸番手	経	4 0 s
	緯	4 0 s
密度 (1 0 c m)	経	2 4 5 本以上
	緯	1 8 0 本以上
色相		指定見本による

別表 5

腰裏地

マーベルト

項目		性能
混紡率		ポリエステル65%以上、レーヨン35%
糸番手	経	40/2s若しくは20/2s
	緯	20s
密度 (カットライン5cm)	経	40/2s 110本
		20/2s 58本
	緯	20s 256本以上
引張強度	経	30kgf以上
	緯	30kgf以上
色相		指定見本による

スレーキ

項目		性能
混紡率		ポリエステル65%以上、レーヨン35%
糸番手	経	30s
	緯	30s
密度 (10cm)	経	340本以上
	緯	260本以上
引張強度	経	30kgf以上
	緯	30kgf以上
色相		指定見本による

芯地

項目		性能
混紡率		ポリエステル100%
糸番手	経	20s
	緯	20s
密度 (10cm)	経	160本以上
	緯	144本以上
引張強度	経	30kgf以上
	緯	30kgf以上
寸法変化率	経	±3%以内
	緯	±3%以内
色相		指定見本による

別表 6

芯地

項目		性能
混紡率		①ポリエステル30%、ナイロン20%、レーヨン50% (±8%) 又は ②ポリエステル40%、ナイロン30%、レーヨン30% (±8%)
重量	①	89±8g/m ²
	②	95±10g/m ²
厚さ	①	0.45±0.07mm
	②	0.43±0.04mm
色相		指定見本による

(参考) 紙袋デザイン図

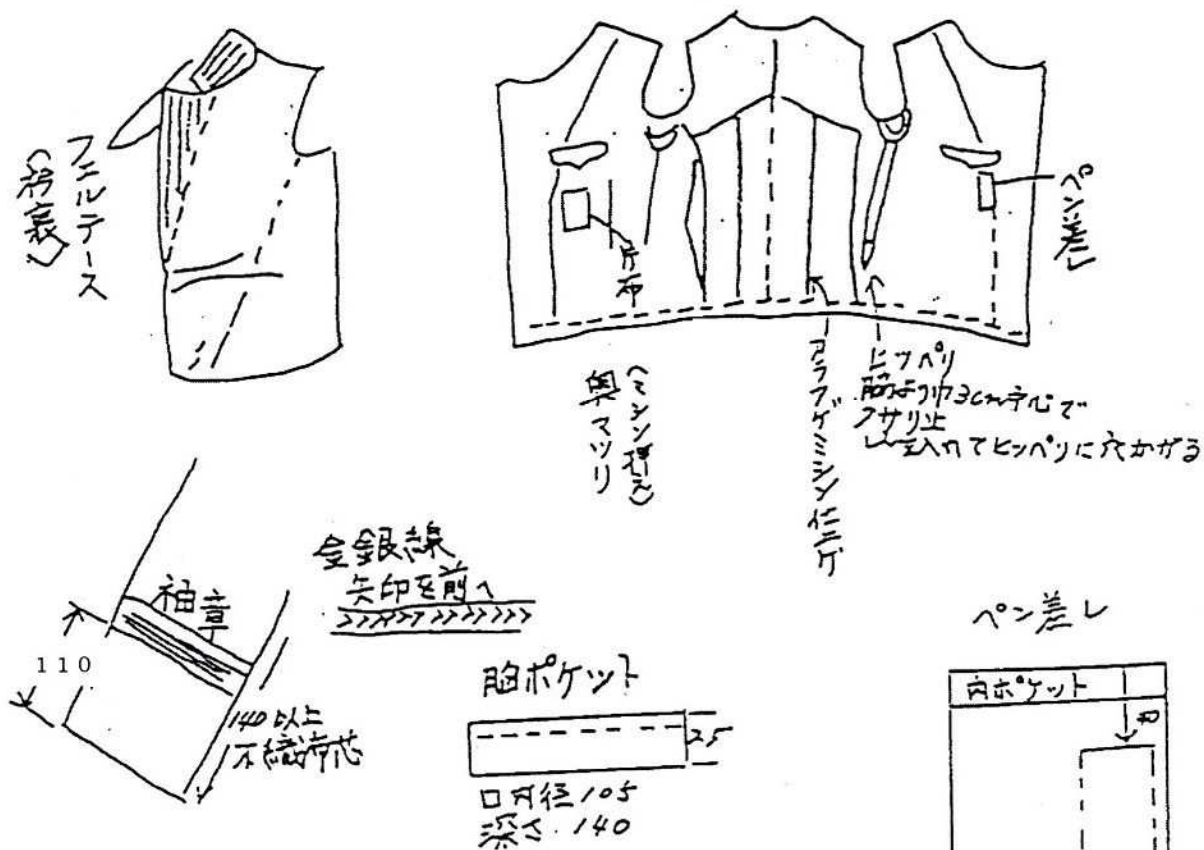
京都市消防局 合冬制服 (男性)	
階 級	サイズ

(表面)

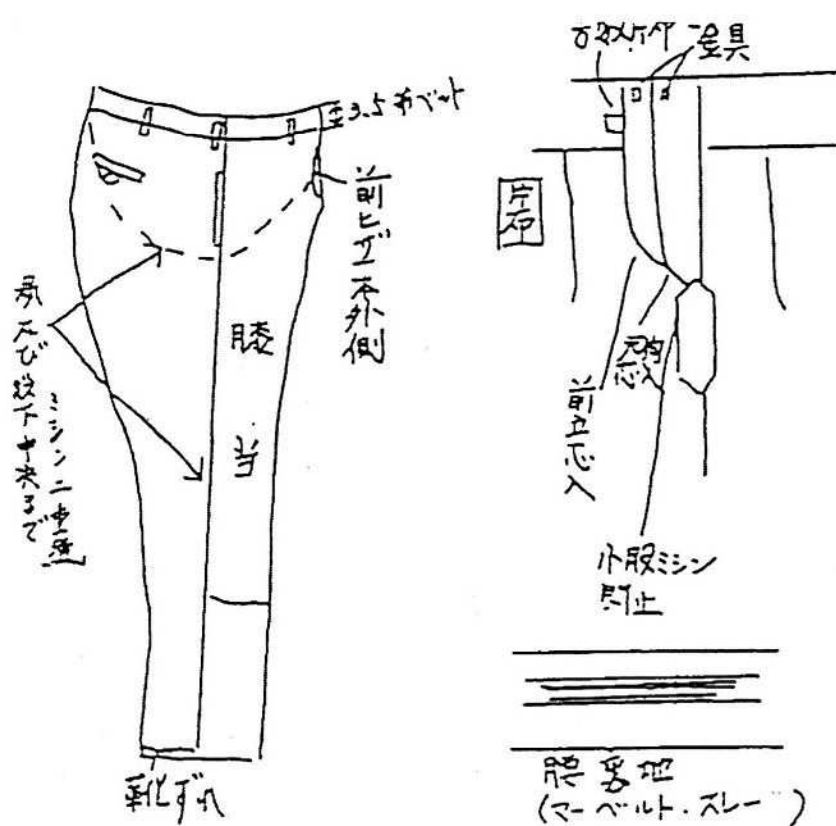
- 1 消防局総務部施設課に納入するものは、品名、階級及びサイズを表示した紙箱に入れること。
それ以外に納入するものは紙袋に入れること。
- 2 再生紙を使用すること。(見本提示)
- 3 紙袋の表面は上図を印刷し、中央に職員氏名を表示すること。裏地は無地とする。
- 4 種類・寸法
 - (1) 紙箱
 - ア 制服上衣用 60cm×43cm
 - イ 制服ズボン用 42cm×30cm
 - (2) 紙袋
 - ア 制服上衣用 60cm×43cm
 - イ 制服ズボン用 42cm×28cm
- 5 再生紙を使用している旨表示すること。

上 衣

(単位 : mm)



下 衣



片布

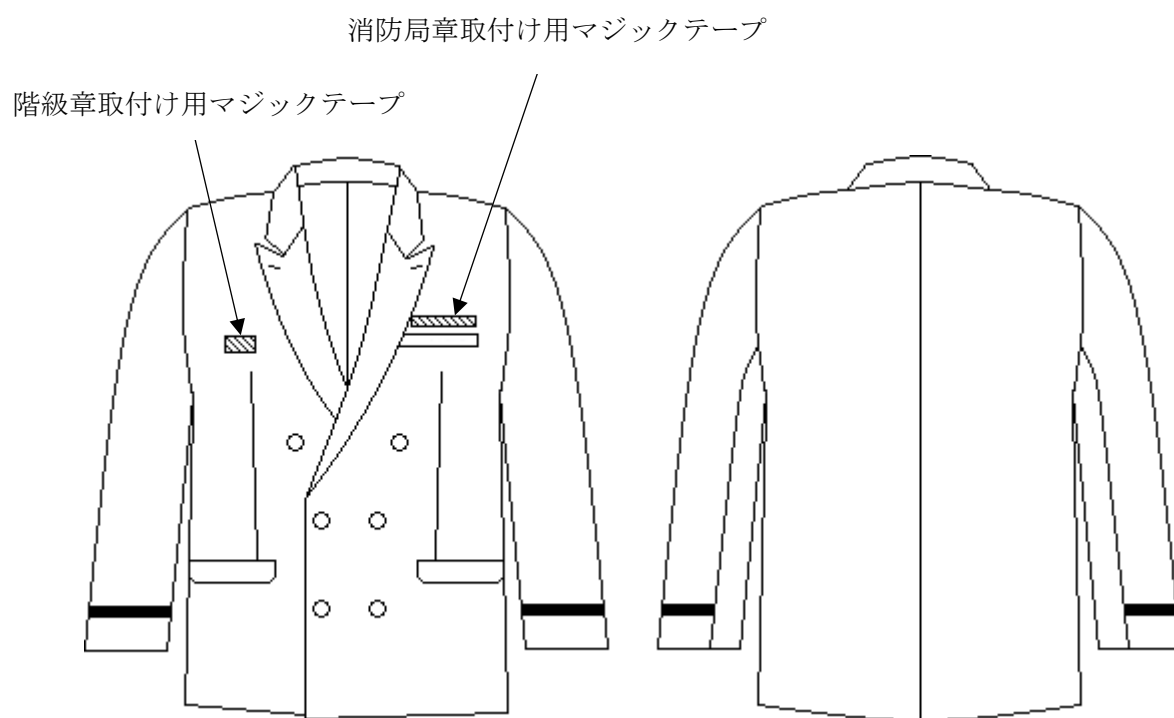
5 c m

京 都 市 消 防 局		
号数	所属	氏名
〇〇年納 (納 入 業 者)		

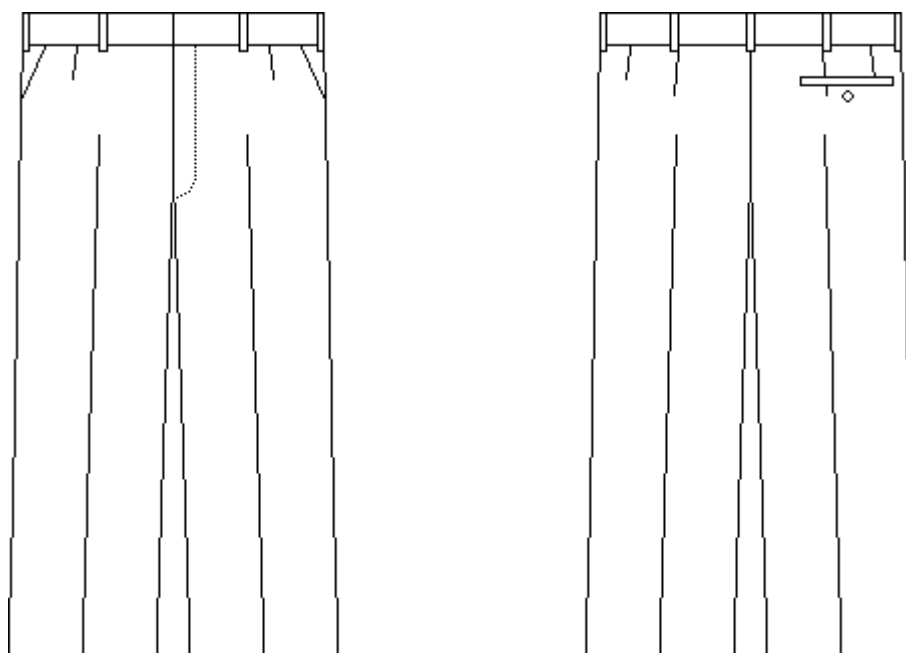
※納入年を記載すること。

7 c m

上衣



ズボン



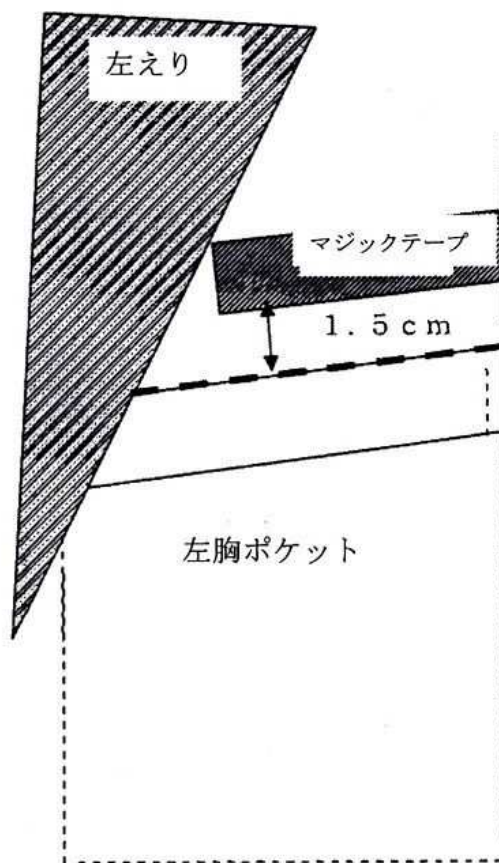
※ベルト通しは、後面中央に1本配置し、全体で7本とする。

消防局章・階級章取付け用マジックテープ位置

消防局章用マジックテープの取付け位置



- ① マジックテープと襟が重ならないようにする。
- ② 胸ポケット上部とマジックテープの間隔は1.5 cmとする。
- ③ 胸ポケット上部のラインとマジックテープが平行になるようにする。

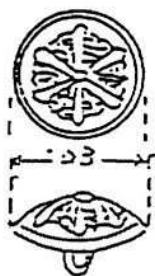


階級章用マジックテープの取付け位置



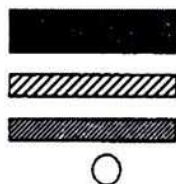
上前の箱ポケット中央の水平な位置で、対称な
下前胸に階級章用マジックテープを縫い付け
る。

ボタン



(単位 : mm)

袖章



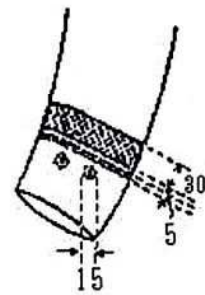
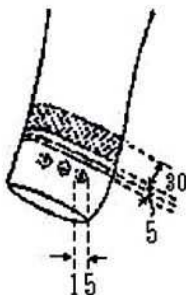
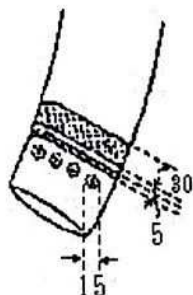
しま織線	黒色
蛇腹組金線	司令補以上
蛇腹組銀線	消防士長
消防き章	金属製

(そで章)

(消防司監
消防正監)

(消防監)

(消防司令長)

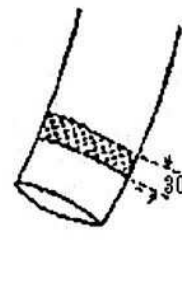
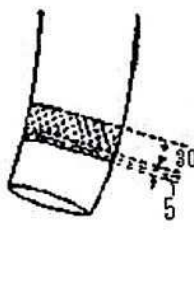
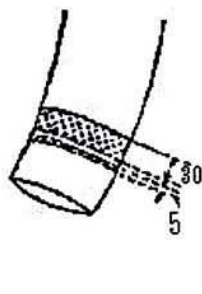
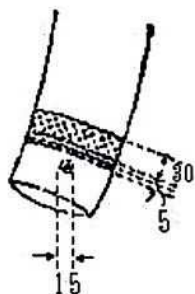


(消防司令)

(消防司令補)

(消防士長)

(消防副士長及び消防士)



蛇腹線は左右対称に内向きに
仕上げる。しま織線と蛇腹はく
っつける。

消防吏員合冬制服（男性用）サイズ表

上衣

(単位：c m)

号数	身長	上衣丈	袖丈	肩幅	胸廻	中廻
特A 2	1 8 8	8 4	6 5	5 1	1 2 1	1 0 8
特A 1	1 8 4	8 2	6 4	5 0	1 1 9	1 0 6
A 0	1 8 0	8 0	6 2	4 9	1 1 7	1 0 4
A 1	1 7 6	7 8	6 1	4 8	1 1 5	1 0 2
A 2	1 7 2	7 6	6 0	4 7	1 1 2	1 0 0
A 3	1 6 8	7 4	5 8	4 6	1 1 0	9 8
A 4	1 6 4	7 2	5 7	4 5	1 0 8	9 6
A 5	1 6 0	7 0	5 6	4 4	1 0 6	9 3
A 6	1 5 6	6 8	5 4	4 3	1 0 4	9 0
特B 2	1 8 8	8 4	6 5	5 6	1 3 2	1 2 4
特B 1	1 8 4	8 2	6 4	5 4	1 2 8	1 2 0
B 0	1 8 0	8 0	6 2	5 2	1 2 4	1 1 6
B 1	1 7 6	7 8	6 1	5 0	1 2 0	1 1 2
B 2	1 7 2	7 6	6 0	4 9	1 1 8	1 0 8
B 3	1 6 8	7 4	5 8	4 8	1 1 6	1 0 5
B 4	1 6 4	7 2	5 7	4 6	1 1 4	1 0 2
B 5	1 6 0	7 0	5 6	4 5	1 1 2	9 8
B 6	1 5 6	6 8	5 4	4 4	1 1 0	9 4
特C 2	1 8 8	8 4	6 5	4 9	1 1 8	1 0 4
特C 1	1 8 4	8 2	6 4	4 8	1 1 6	1 0 2
C 0	1 8 0	8 0	6 2	4 7	1 1 4	1 0 0
C 1	1 7 6	7 8	6 1	4 6	1 1 2	9 8
C 2	1 7 2	7 6	6 0	4 5	1 1 0	9 6
C 3	1 6 8	7 4	5 8	4 4	1 0 8	9 4
C 4	1 6 4	7 2	5 7	4 3	1 0 5	9 2
C 5	1 6 0	7 0	5 6	4 2	1 0 3	8 9
C 6	1 5 6	6 8	5 4	4 2	1 0 2	8 6
誤差		±1	±1	0～+1	0～+1	0～+1

※上衣にあつては、本表を基準とし、袖丈を+ 8 c m、+ 6 c m、+ 4 c m、+ 2 c m、基準、- 2 c m、- 4 c m、- 6 c m、- 8 c mから指定するものとする。

消防吏員合冬制服（男性用）サイズ表

ズボン

(単位：c m)

号数	腰廻	脇丈	腿幅	膝幅	股上	股下	裾口幅
特A 2	9 6	1 1 3	3 7 . 5	2 7	3 0	8 3	2 4 . 5
特A 1	9 3	1 1 1	3 7	2 7	3 0	8 1	2 4
A 0	9 0	1 0 9	3 6	2 6 . 5	3 0	7 9	2 3 . 5
A 1	8 7	1 0 7	3 5	2 6	3 0	7 7	2 4
A 2	8 5	1 0 5	3 4 . 5	2 5 . 5	3 0	7 5	2 2
A 3	8 3	1 0 2	3 3 . 5	2 5	2 9	7 3	2 2
A 4	8 1	1 0 0	3 3	2 4 . 5	2 9	7 1	2 1
A 5	7 8	9 7	3 2 . 5	2 4	2 8	6 9	2 1
A 6	7 5	9 5	3 2	2 4	2 8	6 7	2 1
特B 2	1 0 5	1 1 4	4 0	2 8 . 5	3 1	8 3	2 4 . 5
特B 1	1 0 3	1 1 2	3 9	2 8	3 1	8 1	2 4
B 0	1 0 0	1 1 0	3 8	2 7 . 5	3 1	7 9	2 4
B 1	9 6	1 0 8	3 7 . 5	2 7 . 5	3 1	7 7	2 3
B 2	9 2	1 0 6	3 6 . 5	2 7	3 1	7 5	2 3
B 3	8 9	1 0 3	3 5 . 5	2 6 . 5	3 0	7 3	2 3
B 4	8 6	1 0 1	3 5	2 6	3 0	7 1	2 3
B 5	8 3	9 8	3 4	2 5 . 5	2 9	6 9	2 2
B 6	7 9	9 6	3 2 . 5	2 5	2 9	6 7	2 2
特C 2	9 1	1 1 2	3 7	2 7	2 9	8 3	2 4
特C 1	8 8	1 1 0	3 6	2 7	2 9	8 1	2 3
C 0	8 5	1 0 8	3 5	2 6 . 5	2 9	7 9	2 3
C 1	8 3	1 0 6	3 4	2 6	2 9	7 7	2 2
C 2	8 1	1 0 4	3 3 . 5	2 5 . 5	2 9	7 5	2 2
C 3	7 9	1 0 1	3 2 . 5	2 5	2 8	7 3	2 2
C 4	7 7	9 9	3 2	2 4 . 5	2 8	7 1	2 1
C 5	7 5	9 6	3 1 . 5	2 4	2 7	6 9	2 1
C 6	7 2	9 4	3 0	2 3 . 5	2 7	6 7	2 1
誤差	0～+1	±1	0～+1	0～+1	0～+1	±1	0～+1

※ズボンにあっては、本表を基準とし、股下を+ 8 c m、+ 6 c m、+ 4 c m、+ 2 c m、基準、- 2 c m、- 4 c m、- 6 c m、- 8 c m及びフリーから指定するものとする。

フリーとしたズボンは、股下を基準から1 2 c m以上とし、裾上げテープを同封すること。

消防吏員合冬制服（女性用）仕様書

京都市消防局総務部施設課
(担当：藤・菱野 212-6649)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する消防吏員合冬制服（女性用）等（以下「合冬制服」という。）の仕様について定める。
- 2 この合冬制服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この合冬制服は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。

なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議すること。

- 5 仕様生地について、同等品で納入を希望する場合は、同等品確認時に、生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可とする。ただし、染色前の生地で同等品確認を受けた場合にあつては、契約後、染色後の生地について、再度同等品確認を行う。この際、同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。）に加え、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書又は国内公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。また、国内紡績メーカーの品質証明を提出する場合であっても、本仕様書の性能を満たしていることが判断できないときは、国内公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。

なお、国内公的機関の試験成績結果を証明する書類について期限までに提出できない場合にあつては、契約後に提出することを認める（契約後提出する旨の申出書を提出すること。）。ただし、契約後、当該書類の確認により同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。

- 6 落札業者は、契約後速やかに、染色後の生地見本（10cm四方以上、染色にあつては染色が必要な生地に限る。）、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書並びに製作工程表（検収予定月日も明記すること。）を当局へ提出するとともに、承認を得ること。ただし、国内紡績メーカーの品質証明により、本仕様書の性能を満たしていることが判断できない場合は、国内公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出し、承認を得ること。

なお、同等品で納入を希望する場合において、既に提出済みの書類については、再提出の必要はないものとする。

- 7 サイズについてはサイズ適応表（別表2）のとおりとし、細部については採寸し、寸法の調整を行うこと。
- 8 採寸分については、サイズ適応表各号数の見本を着用させ、寸法調整を行うこと。
- 9 製品は、個別に透明な袋又は紙箱に入れ、「女性合冬制服 上衣」、「女性合冬制服 ズボン」及びサイズを表示したシールをそれぞれ貼付すること。別に指示する袖章（金属製消防き章）を必要数入れること。消防局総務部施設課以外に納入するものには、袋の表面に職員氏名を表示すること。（表示する氏名は、別途指示する。）
- 10 製品は当局の各所属に納入すること。

- 11 納入前に当局の指定した場所で検収を実施する。
- 12 契約後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあっては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 13 契約後、打合せを実施する。
- 14 請求書に購入物品ごとの単価及び数量を明記すること。

第2 調達数、納品場所及び納期

1 調達数（サイズ内訳については、契約後に指示する。）

- (1) 上衣： 11着
- (2) ズボン： 10着

2 納品場所（納品場所別内訳については、契約後に指示する。）

当局本部庁舎	京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450番地の2
消防活動総合センター	京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94番地の4
消防学校	京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内21番地の3
北消防署	京都市北区大宮西脇台町17番地の2
上京消防署	京都市上京区釜座通下立売下る東裏辻町398番地
左京消防署	京都市左京区田中西大久保町36番地
中京消防署	京都市中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町521番地
東山消防署	京都市東山区清水五丁目130番地の8
山科消防署	京都市山科区西野今屋敷町2番地の10
下京消防署	京都市下京区五条通高倉西入堺町27番地
南消防署	京都市南区西九条菅田町4番地の1
右京消防署	京都市右京区太秦蜂岡町36番地
西京消防署	京都市西京区樫原佃19番地
伏見消防署	京都市伏見区竹田七瀬川町9番地の1
醍醐消防分署	京都市伏見区醍醐大構町28番地

3 納期

令和9年2月19日（金）

第3 上衣

1 型式

ピークドラペル（テーラー衿）、ダブル6釦（二つ掛け）、左胸箱縁ポケット、両腰雨蓋付き両玉縁付きポケットとする。総裏仕立て、2枚軸、前面左右ウエストダーツとする。

2 使用素材及び付属品

(1) 表地

別表1のとおり。

(2) 裏地

東レパレル#8400、指定色（濃紺）及びポリエステル100%又は同等品。総裏とする。

(3) 芯

接着芯、良質なものを。前身、袖口、衿及びポケットフラップ部分等。

- (4) 肩パット
清原NE105又は同等品。
- (5) 袖章
黒色しま織線、蛇腹（金・銀）及び金属製消防き章。
- (6) 釦
消防章入り金属製及び裏釦1個（樹脂製）。
- (7) 衿吊り
同色8mmテープ
- (8) 縫糸
ア 本縫い ポリエステル・50番
イ 釦付け ポリエステル・30番
- (9) 氏名片布
指定（別図1）のとおり。
- (10) 面ファスナー
上質適正品

第4 ズボン

1 型式

総裏（長さは膝下とする。）仕立て、帯付き長ズボン型、左右ポケット付き及び右後玉縁ポケット付き。

2 使用素材及び付属品

- (1) 表地
別表1のとおり。
- (2) 裏地
東レパレル#8400、指定色（濃紺）及びポリエステル100%又は同等品。
- (3) ファスナー
YKKエフロンファスナー
- (4) カン
良質なものを。
- (5) 釦
施設課了承のもの。
- (6) 縫糸
ア 本縫い ポリエステル・50番
イ 釦付け ポリエステル・30番
- (7) 氏名片布
指定（別図1）のとおり。納入年を記載すること。

第5 縫製条件

1 裁縫

- (1) 糸調子は上下糸とも、つれ、たるみがないように最良の調子で縫い、返し針を完全にする。
- (2) 各部の縫合が優良で縫い代が適当であること。
- (3) 縫い目が優良で、縫い曲がりがないこと。

(4) 飾りステッチは、ポリエステル 30 番糸を使用のこと。

(5) 各部の縫い目はあたりなく始末する。

2 裁断

型入れは布目を正しく通し、全体を同一の反であるように番号又は記号を付ける等十分注意すること。

3 仕立て

(1) 優美なスタイルで、着崩れのない仕立てとすること。

(2) 芯は完全に接着すること。

4 仕上げ

(1) 糸屑をとり、検品後丁寧にプレスすること。

(2) 運針数は 1 インチ間 11 針以上とする。

第 6 縫製要領等

1 上衣（別図 2）

(1) 縫い及び折り上げ（上り寸法）

ア 裾 4 c m

イ 後中央 1. 5 c m

ウ その他 1. 0 c m

(2) 裁ち目

見返し衿の裁ち目は千鳥掛けとする。

(3) 前身頃

6 つ釦 2 つ掛けとし、肩パットを入れる。肩パットは肩先より 1. 0 c m 出す。縫い代を肩縫い代にとめる。ウエスト部はダーツ処理を行う。

(4) 後身頃

裏縫い代を表地肩縫い代にとめる。センターシームとし、見返しに裏釦を付ける。前打合せ、前衿ぐり、後衿まで 0. 5 c m のステッチを入れる。

(5) ポケット

左胸に箱ポケットを一個設ける。腰は両玉縁フラップ付きとする。大きさは別図 1 のとおり。

(6) 袖

裏袖はミシン縫い可とし、袖章を表袖につける。（別図 2 - 1）

(7) ステッチ

上衿、返り衿、フロント及び胸ポケットに幅 5 mm のステッチを入れる。

(8) 衿

衿付け縫い代は割り、中とじする。表衿の余裕を十分にとる。台衿中央部内側に衿吊りテープを付け、左下衿に襟章用の衿穴を付ける。上衿と下衿は鎖留めをする。上衿のおわりは、2 つ目のボタンの上部とする。（別図 2 参照）

(9) 裏地

裏地については総裏とする。

(10) 内ポケット

下前、上前裏側に片玉三角雨蓋付き面ファスナー（オス・メス）とめの内ポケットを付ける。（口幅 14 c m、深さ 16 c m）

(11) 階級章止め

右胸に階級章止め用面ファスナー（メス）を取り付ける。

(12) 消防局エンブレム止め

左胸ポケット上部に消防局エンブレム止め用面ファスナー（メス）を取り付ける。取付位置は、ポケット口上部から約2 cmとし、衿にかからないこと。

(13) 片布

右胸内側に、指定のものを縫い付ける。

(14) 号数表示

号数表示は衿中心挟み込み、洗濯表示は片布株に挟み込む。

2 ズボン（別図3）

ズボンのシルエットは、ストレートとなるようにすること。

(1) 縫い代及び折り上げ

ア 脇 1. 5 cm

イ 後中心 1. 0～3. 0 cm

ウ その他 1. 0 cm

(2) 裁ち目

裾へム及び脇縫い代とも、オーバーロック始末とする。

(3) インサイドベルト

芯地を入れ、幅は3. 0 cmとする。

(4) ベルトループ

1. 0 cm幅のループを、前後計6本取り付ける。

(5) かぎホック及びファスナー

ウエストベルトに指定のかぎホックを付け、ファスナー（長さ20 cm）は、前中央部に縫着する。

(6) 脇ポケット

左右斜めポケット（口幅15. 5 cm）を取り付け、ポケット口は5 mm幅のステッチをかける。

(7) 後ポケット

右後に片玉縁ポケット（釦止）を取り付ける。（口幅12 cm、深さ16 cm）

(8) タック

前身頃に外向きタックを左右各1本付ける。

(9) ダーツ

後身頃にダーツを左右各2本付ける。

(10) 片布

指定の場所に付ける。

(11) 号数表示

号数表示はベルト裏に挟み、洗濯表示は同表示下部に挟み込む。

(12) 裾

折り返し幅6 cm以上とし、ロック始末すくい止めミシン縫いする。その際縫い糸が表にひびかないように十分注意する。

(13) 靴ずれ

表地使用、幅2. 5 cm、長さ18 cmとし裁ち目は内側へ折り返して端ミシンをかける。

(14) 裏地

総裏付とし、長さは膝下までとする。

第7 その他

- 1 消防局総務部施設課に納入するものは、品名、階級及びサイズを表示した紙箱に入れること。
それ以外に納入するものは透明の袋に入れること。
- 2 紙箱には再生紙を使用し、再生紙を使用している旨を表示すること。
- 3 種類・紙箱寸法
 - (1) 制服上衣用 60 c m × 40 c m
 - (2) 制服ズボン用 42 c m × 30 c m

別表 1

消防吏員合冬服（女性用）材料仕様（表生地）

表生地は、日本毛織株式会社のEC4000L又は次の性能を満たす同等品を可とする。

（上衣、ズボン）

項目		性能
混紡率		再生ポリエステル50% ウール50% (制電繊維1%以内)
糸番手	経	2 / 52
	緯	2 / 52
組織		2 / 2 正斜紋織
密度 (10cm)	経	295～319本
	緯	260～277本
重量		220～250g/m ²
収縮率		3%以内
洗濯堅牢度		4～5級
色相		濃紺（指定色）

別表 2

消防吏員合冬服（女性用）サイズ適応表

（1）上衣（単位：cm）

サイズ	肩幅	胸囲	着丈	袖丈
7号	42	97	65	55
9号	43	100	65	55
11号	44	103	66	55
13号	45	106	66	56
15号	46	110	66	56
17号	47	114	66	56
誤差	0～+1	0～+2	±1	±1

※上衣にあつては、本表を基準とし、袖丈を+8cm、+6cm、+4cm、+2cm、基準、-2cm、-4cm、-6cm、-8cmから指定する。

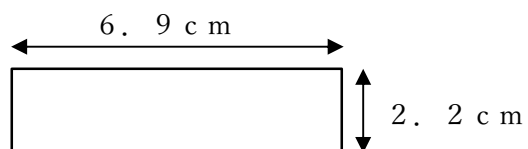
（2）ズボン（単位：cm）

サイズ	ウエスト	ヒップ	裾幅	股下
7号	62	96	21	68
9号	65	99	21	70
11号	68	102	22	72
13号	72	105	22	74
15号	76	108	22	76
17号	78	111	22	78
誤差	0～+1	0～+2	±1	±1

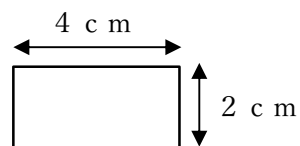
※ズボンにあつては、本表を基準とし、股下の長短を2cm単位又はフリーから指定する。

フリーとしたズボンは、股下を基準+10cm以上とし、裾上げテープを同封すること。

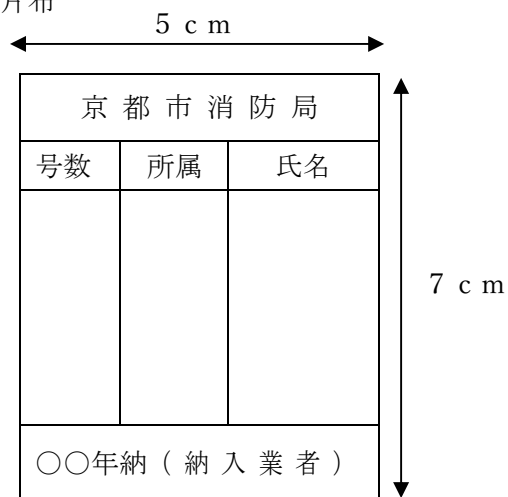
1 消防局ネーム止め



2 階級章止め

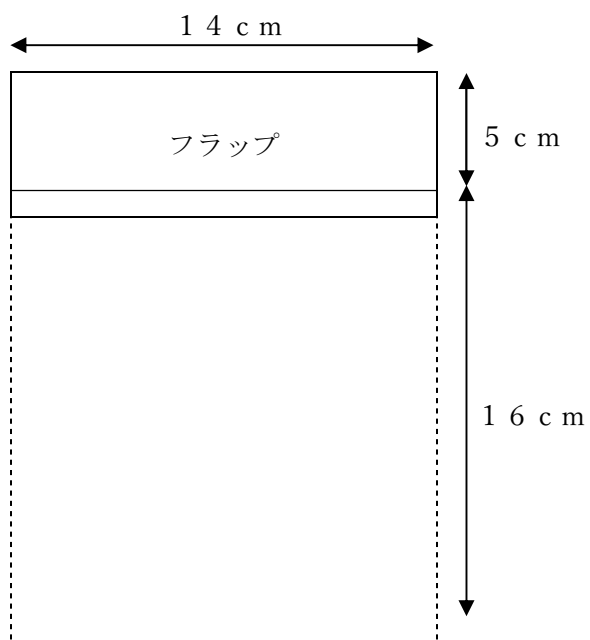


3 片布

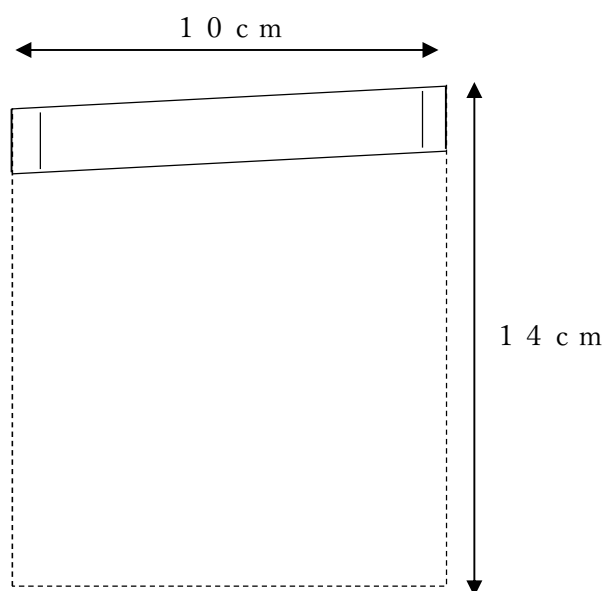


※納入年を記載すること。

4 腰ポケット



5 胸箱ポケット

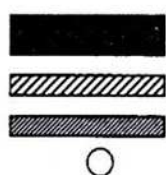




別図 2 - 1

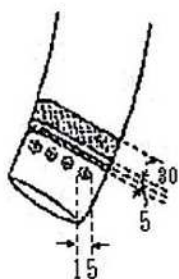
単位：ミリメートル

(袖 章)

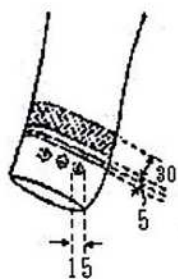


しま織線	黒色
蛇腹組金線	司令補以上
蛇腹組銀線	消防士長
消防き章	金属製

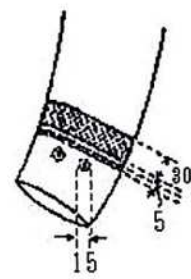
(消防司監
消防正監)



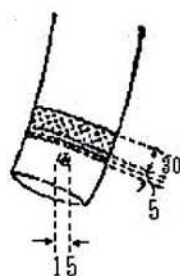
(消防監)



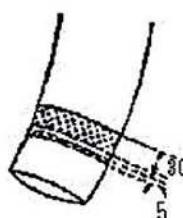
(消防司令長)



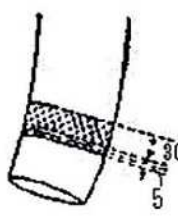
(消防司令)



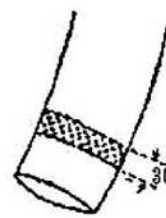
(消防司令補)



(消防士長)

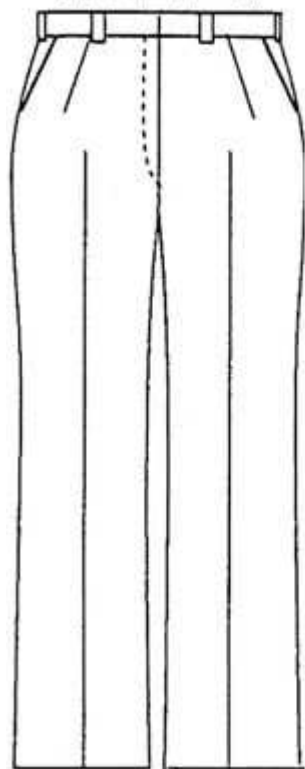


(消防副士長及び消防士)



ズボン

(前面図)



(後面図)

